

## 長井地区及び朝日地区「かわまちづくり」支援制度に初認定 ～まちづくりと一体となった「にぎわいのある水辺空間」の創出を支援～

国土交通省では、平成21年度に創設した「かわまちづくり」支援制度について、全国で67件の認定を行いました。

本制度は、「地域と連携した川づくりに係る事業※」のひとつとして創設され、地域の創意工夫等を尊重し、地域との連携を強化しつつ水辺空間とまち空間の融合を図り、良好な空間形成を目指すことを目的として、市町村等が作成した計画をハード・ソフト両面から支援するものであり、今回が初めての認定となります。

東北地方整備局管内では8件が認定され、山形県内では長井地区及び朝日地区が認定されています。

今後は、長井地区において、「かわ」と「まち」をつなぐフットパス（散策路）、桜づつみ等、朝日地区では「まち」に点在する観光・史跡等を最上川を介してつなぐフットパス（散策路）等の整備を行い、市町村や地域住民・市民団体等と河川管理者が連携しながら、にぎわいのある水辺空間を創出し、観光振興、地域活性化を図っていきます。

※「地域と連携した川づくりに係る事業」とは、地域の個性やニーズに対応した治水事業の一層の展開を図るため、「水辺の楽校プロジェクト」、「河川防災ステーション」など、地域との連携によりハードとソフトを一体的に整備する事業であって、その実現に向けて市区町村の役割が大きい事業について登録・認定等を行い、積極的に推進することとしています。

なお、本件については、国土交通本省及び東北地方整備局においても記者発表しています。

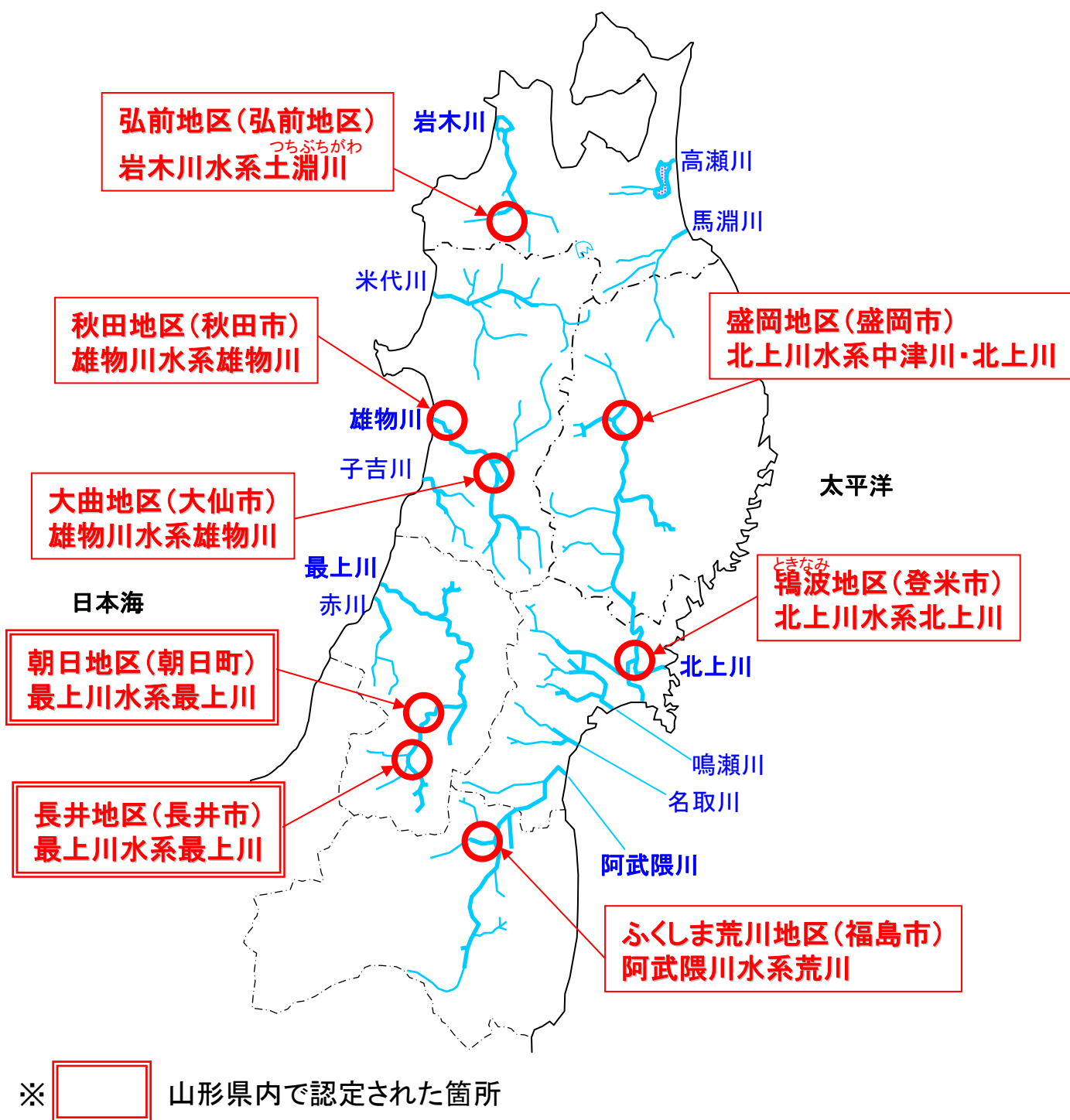
<発表記者会： 山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部>

### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局  
山形河川国道事務所 023-688-8421  
副所長 横山 喜代太 (内線204)  
工務第一課長 佐藤 勝美 (内線311)

# 「かわまちづくり」支援制度 認定箇所【東北地方整備局管内】

## 第1回認定(平成21年5月22日付け)



# 長井地区かわまちづくり ～舟運の歴史と花・水・緑に親しむかわまちづくり～

■市町村名： 山形県長井市

■対象河川： 最上川水系最上川

■概要

長井市では、「水と緑と花」をコンセプトとしたまちづくりを実施するとともに、「かわ」と「まち」をつなぐフットパス(散策路)等を整備し、まち歩きやイベント等に利活用してきました。さらに、「まちづくり交付金」や「まちづくり基金」等を活用したコミュニティ歩道や案内板の整備、NPO等と連携した河川空間への花畑の創出など、積極的な整備や活動も実施しています。

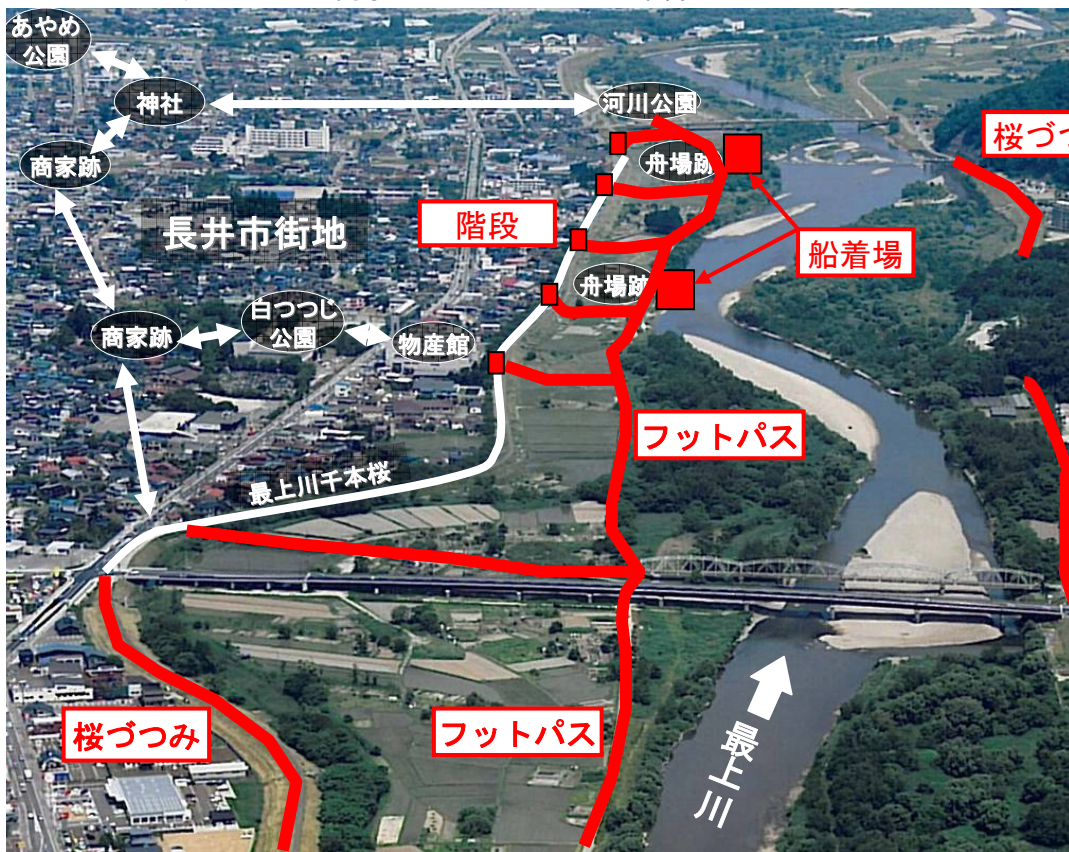
今後は、舟運時代の川港として栄えた歴史を活かしたまちづくりを計画しており、この計画と水辺が一体となった良好な空間を創出し、観光振興を支援します。

■整備内容

- ・フットパス(散策路)、階段
- ・船着場(親水護岸)
- ・桜づつみ 等



舟運で栄えた商家跡などが残されている市街地



フットパス(散策路)【イメージ】



桜づつみ



桜づつみ・階段【イメージ】

# 朝日地区かわまちづくり（朝日地区フットパス）

## ～雄大で美しい自然を感じるかわまちづくり～

■市町村名： 山形県西村山郡朝日町

■対象河川： 最上川水系最上川

### ■概要

朝日町では、町の総合発展計画において最上川を観光の重要な資源として位置付け、町の開発と合わせて水辺の整備を進めています。朝日町を流れる最上川は、雄大で美しい景観、変化に富んだ流れから絶好のカヌースポットとなっており、競技大会等も開催されています。このため、過去には水辺プラザとして、カヌーを中心とした町の交流拠点を整備し、県内外の方々に利用されています。

今後は、点在する豊富な観光資源や史跡等を最上川を介してつなぐフットパス（散策路）等を整備し、観光交流ネットワークの形成を図ることにより、観光振興を支援します。

### ■整備内容

- ・フットパス（散策路）
- ・案内板 等



明鏡橋  
(土木学会選奨土木遺産)



最上川観光交流ネットワークの形成  
(フットパスの整備)



カヌー船着場  
最上川ビューポイント

能中一本松公園整備状況

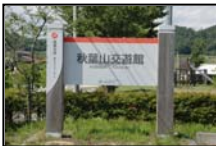


フットパスルート  
整備延長L=3.2km



常盤地区水辺プラザ  
(整備済み)

日本の棚田百選「権平(くぬぎだいら)」



カヌー競技コース

カヌー船発場



エコミュージアム活動「おらほの最上川学」での案内人による現地案内

エコミュージアムデザイン事業で設置している案内板



佐竹家住宅  
(国指定重要文化)



エコミュージアムの活動拠点  
エコミュージアムコアセンター「創遊館」

NPOエコミュージアム協会による15人の案内により、創遊館を拠点として年間約1500人の利用者



豊龍の丘広場整備状況